

第 4 学年 総合的な学習の時間指導案

指導者 T 1

T 2

T 3

1. 題材 「ともに生きる心 - みんなの〇〇 - 」(福祉)

2. 指導にあたって

こんな子どもだから

生活科の学習で、地域のお年寄りから昔遊びを覚えてもらうという経験をしている。また、日常生活の中で点字ブロックや車いす等を見たこともあり、国語の「手と心で読む」の学習を通して、点字の役割や使われ方などについて知識として知っている。 (題材)

自分の体験したことをメモに書くことで、発表することができるようになってきた。また、関心のあることについては、発表している人の方を向いて話を聞いていた。 (体験・伝え合う活動)

グループの友だちや限られた友だちとは、仲良く活動し自分の考えを伝えることができる。3年生の児童とは運動会の練習を一緒にするなどかわりも多い。1学期の社会科の学習では、GTの話の静かに聞いたり、質問をしたりしていた。 (人とのかわり)

こんな教材で

GTの話の聞いたり、疑似体験をしたりすることで、バリアやバリアフリーについて調べ、「みんなが生活しやすい〇〇のまち」にするために、自分たちにできることを考えていく活動を行う。

アイマスクや車いすの体験をしGTの話の聞くことで、障がいのある人のことを考えて行動することの大切さが実感できる。

表現物を分かりやすく作るために、国語の「手と心で読む」で学んだ内容や方法を活用することができる。

自分たちが疑問に思ったことや調べてみたいと思ったことを課題にすることで、調べて分かったことを友だちに伝えたいという意欲をもつことができる。

調べたことをもとに表現物を使って、3年生にわかりやすく伝えようとすることは、コミュニケーション能力の育成につながる。

地域のバリア・バリアフリーを調べることで今までとは違った視点で地域のことを見直すきっかけとすることができる。

地域に目を向けて考えることで、自分の生活をふり返り、自分の生活を見つめ直すことができる。

こんな手立てを(人とのかわりは)

つ か む	学習への意欲を持たせるために、全児童にアイマスク、車いす体験をさせる。 課題意識を明確にさせるために、体験の感想を書かせ、それをもとに話し合いを行う。 GTの話の聞き、2人組で協力してアイマスク、車いす体験をする。
さ ぐ る	一人一人が意欲的に調べさせるために次のことを行う。 ・自分の課題をもって、学校や団地の周辺、公民館などを調べさせる。 ・インタビューの仕方など調べ方の具体例を示す。 一人一人が意欲的に活動出来るように、課題別の小グループで調べたり、表現物にまとめたりさせる。 発表をよりよくするために話し合いの場やリハーサルを設定する。 グループで協力して活動する。 公民館や団地の人にインタビューする。
ひ ろ げ る	学習の達成感を味わわせるために調べたことや自分の考えを発表する場を設定する。 自分たちが調べて分かったことや考えたことを3年生に発表する。

3. 目標

興味・関心・意欲（価値的・態度的側面）

- ・バリアやバリアフリーについて、意欲的に調べたり、発表したりすることができる。

伝え合う活動（技能的側面）

- ・自分の考えと友だちの考えに同じところはないか、気をつけながら話し合うことができる。

自分の生き方（知識的側面）（価値的・態度的側面）

- ・身体に障がいのある人の生活や願いを知ることができる。
- ・みんなが住みよい町にしたいという気持ちをもつことができる。

人とのかかわり（技能的側面）

- ・友だちと協力して調べたり、発表したりする中でお互いのよさを感じ取ることができる。

4. 学習計画（30時間＋課外）

自己存在感を持たせる支援 **自己** 共感的人間関係を育成する支援 **共感** 自己選択・決定の場の工夫 **選決**

段階	時間	学 習 活 動	人とのかかわり	指導・支援 は個別の支援	評 価
つ か む	1	<p>1. 身体に障がいのある人の話を学習して自分たちの周りにも、体が不自由な人が生活していることに気づく。</p> <p>(1) 教科書や資料から学習する。 道徳「席が空いているのに」「車いすの青春」 国語「手と心で読む」</p> <p>・私たちの書く字の代わりにするのが点字なんだね。 ・障がいがあっても強い心で生きている人がいるんだね。</p> <p>(2) 自分が知っていることを出し合う。 ・目が見えない人で盲導犬を連れてくる人がいるよ。 ・点字ブロックがあるのを見たよ。 ・テレビで手話ニュースを見たことがあるよ。</p>	友だちと今までしてきた学習を想起し話し合う。	障がいがあることの大変さだけではなく、前向きな生き方に気づかせるために筆者や主人公の心情を感じ取らせる。 共感 子どもたちの意見が出やすいように学習の足跡や写真を掲示しておく。 共感 学習課題を明確にもたせるために、これまでの経験から知っていることを出し合い、体験活動へとつなぐ。 自己	自分たちが知っていることを確認できる。 (知識的側面)
	2	<p>2. 身体に障がいのある人をGTとして招き、生活の中のバリアを疑似体験する。</p> <p>(1) 疑似体験を通してバリアのある生活を体感する。 アイマスク体験 車いす体験 盲導犬とのふれあい</p> <p>(2) GTの話聞く。 4つのバリア・バリアフリー (もの・法律・情報・こころ)</p>	友だちと協力して疑似体験をする。 GTの話をも最後までしっかり聞く。 GTの話聞きわからないことを質問する。	バリアのある生活の不自由さとバリアフリーの意味と大切さについて学べるようにGTと打ち合わせをしておく。 自己・共感 一人一人が意欲をもって活動出来るように保護者にも協力してもらう。 自己 活動に入れない子には声をかける。	障がいのある人の気持ちになって、疑似体験をしている。 (価値的・態度的側面)

	<p>(3) 保護者の話を聞く。 ○○校区のバリア・バリアフリー</p> <p>2 3. 校区探険をする。 ○○校区のバリア・バリアフリーを探す。</p> <p>4. 福祉体験や校区探険の感想をもとに学習課題をつくり、活動の計画をたてる。</p> <p>1 (1) 学習課題をつくり、一人一人の課題をもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>共に生きる心 - みんなの○○ - ○○にあるバリアやバリアフリーを見つけ、みんなが生活しやすい町をめざそう。</p> </div> <p>1 (2) 追究内容や調べる方法について話し合う。 目が不自由な人から見て 高齢者から見て 外国の人から見て 車いすの人から見て それぞれのバリアやバリアフリー</p> <p>1 (3) 自分が追究することや、調べる方法を確認する。</p>		<p>プリントを用意し、感じたことや考えたことを書くことができるようにしておく。 選決</p> <p>活動に入れない子には声をかける。</p> <p>体験の感想と、自分が興味をもった事柄を書かせ、それをもとに話し合わせる。 選決</p> <p>課題が決まらない子には体験活動をふり返らせる。</p> <p>自分たちの住んでいる地域に視点がいくように校区探険の写真を掲示しておく。 自己</p> <p>課題を明確にもたせるため、どこで何を調べてくるかプリントにまとめさせる。 選決</p>	<p>自分が興味をもったことをプリントに書く。 (技能的側面)</p> <p>課題解決のための学習計画を立てることができる。 (技能的側面)</p>
さ ぐ る	<p>6 5. 課題を解決するための追究活動をする。 それぞれの課題ごとに調べに行き、バリアやバリアフリーを見つけたり、インタビューしたりする。 見学、インタビュー、デジカメによる撮影など工夫して取材する。</p> <p>6 6. 調べたことをまとめる。</p> <p>6 (1) 同じ課題のグループで話し合い、表現物にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・目が不自由な人から見て < 歩道 信号 音</p> <p>・高齢者から見て < 歩道段差 階段エレベーター</p> <p>・外国の人から見て < 学校 校区(公民館等)</p> <p>・車いすの人から見て < 学校 校区(公民館等)</p> </div> <p>から見た○○のバリア・バリアフリー 自分たちにできること</p>	<p>グループの友だちと協力して調べる。</p> <p>グループの友だちと協力してまとめる。</p>	<p>インタビューや写真活用の仕方を提示し選択できるようにする。 選決</p> <p>一人一人が自信をもってインタビューできるように、インタビューの練習をさせておく。 自己</p> <p>多様な表現方法やまとめ方を提示し選択できるようにする。 選決</p> <p>グループの中に入れない子には声をかける。</p>	<p>見学に行ったり、インタビューを行ったりして、情報を集めることができる。 (技能的側面)</p> <p>グループで、協力して表現物をつくる話し合いができる。 (技能的側面)</p>

1 本 時	1	(2) 表現物の内容, 話し方, 分かったこと, 考えたことを, 分かりやすくまとめているかを見直し, 話し合う。	グループの友だちの意見を取り入れながら協力して話し合う。	自分が調べたことと比べて考えやすいように同じ課題のグループで見直しをさせる。 自己	友だちの発表のよいところを考えながら聞いている。 (価値的・態度的側面)
	2	(3) 話し合ったことをもとに, 表現物を見直す。	グループの友だちと協力して表現物を見直す。	友だちの発表のよいところを確認させるために, 前時の学習プリントを配布し, 自分の発表に取り入れるように声かけをする。 共感	自分の表現物を相手に分かりやすく発表している。 (技能的側面)
	2	7. 発表会のリハーサルをする。 ・ Aグループ Bグループ ・ Bグループ Aグループ	グループの友だちと協力して発表の練習をする。他のグループの発表を最後まで聞く。	友だちの発表のよさに気づくように声かけをする。 共感 発表に自信がもてない子には, 発表メモを用意させる。	
ひ ろ げ る	2	8. 発表会を行う。	3年生にわかりやすく伝える。	自分や友だちの発表のよいところを見つけて感想を書かせる。 共感 発表に自信がもてない子には, 発表メモを見るように声をかける。	友だちの発表のよいところを考えながら聞いている。 (価値的・態度的側面)
	2	9. 今までの学習をふり返り「自分たちにできること」を考える。 みんなが生活しやすい町づくりのために, 「自分たちにできること」について考え取り組む。	自分たちにできることを, 具体的に考える。	学習課題をふり返らせ「自分たちにできること」を課題とつないで考えさせる。 自己 考えが思いつかない子には, 自分が作った表現物やこれまでの学習の掲示物を見るように言葉かけをする。	課題に向けて「自分たちにできること」を考えることが出来る。 (技能的側面)
	1	10. GTに手紙を書いて, 学習して学んだことを報告する。	GTに手紙を書く。	学習をふり返りながらお礼や今後の考えを手紙に書かせる。 自己 手紙が書けない子がいた時には, 数名の子に書いた手紙の文章を発表させ, それを聞かせる。	自分たちがこれからどうしていくかを書くことができる。 (技能的側面)

第 4 学 年 組 本 時 学 習 指 導 案

指導者 T 1
T 2
T 3

5. 本時 平成 年 月 日 () 第 校 時 場所 多目的ホール

6. 本時について

目標

<p>興味・関心・意欲（価値的・態度的側面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの発表と友だちの発表を比べ、よりわかりやすい発表にしようとしている。 <p>自分の生き方（価値的・態度的側面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの発表と友だちの発表を比べ、自分や友だちのよさに気づくことができる。 <p>人とのかかわり（技能的側面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで協力して発表したり、友だちの発表を一生懸命聞いたりすることができる。
--

前時までに

<p>前時までに調べたことをまとめている。</p> <p>3年生にわかりやすいようにグループ内で発表したり、発表を聞いたりして練習している。</p> <p>自分のグループの発表を聞いてもらいたいという意欲や他のグループの発表を聞きたいという関心をもっている。</p>

本時の手立て

<p>同じ課題のグループ同士が話しやすいように場を設定しておく。</p> <p>学習の流れ、発表の手順を確認する。</p> <p>聞き方カードを持たせ、自分の聞き方をふり返らせる。</p> <p>聞いてわかったことや気づいたことを学習プリントに書かせる。</p>

7. 準備 教師・・・学習の流れ
児童・・・表現物， 学習プリント

8. 展開

自己存在感を持たせる支援 自己 共感的人間関係を育成する支援 共感 自己選択・決定の場の工夫 選決

学習活動	人とのかかわり	T 1の指導と支援	T 2の指導と支援	T 3の指導と支援	評 価
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>3年生にわかりやすい説明をするために、自分たちが調べてまとめたことを見直そう。</p> </div> <p>2. 学習の流れを確認し、見直しの視点について話し合う。</p> <p>見直しの視点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>わかりやすい言葉を使っているか。 声の大きさ、速さは、よいか。 みんなで協力して発表しているか。 自分たちの考えや気持ちは書いてあるか。 絵・図・写真の使い方はよいか。</p> </div>		<p>一人一人が意欲をもって学習に取り組むように聞き方「あいうえお」の確認をする。 自己</p> <p>話し合いの見通しをもたせるために見直しの視点を確認する。 選決</p>	<p>学習の見通しを持ち意欲的に取り組めるように学習の流れを提示しておく。 選決</p>		

3. 課題別グループに分かれて話し合う。



Aが説明し，Bがアドバイスをする。

Bが説明し，Aがアドバイスをする。

- ・大きな声でよく聞こえました。わかりやすい言葉を使うともっといいですね。
- ・絵が大きくてわかりやすかったけど説明の時にかくれていました。

4. A Bグループに分かれて話し合う。

- ・絵や説明が大きく書いてあって分かりやすい。
- ・説明する人と写真を見せる人が協力していた。
- ・説明しながら，実際にやってみせてくれたのがよかった。

5. 今日の学習をふり返る。

ふり返りの観点(事実・感想・意欲)

- ・公民館の中にも点字が使われていることがわかった。
- ・さんが「わかりやすい」って言ってくれて嬉しかった。
- ・3年生の前で大きな声でゆっくりに発表したいです。

課題別グループで協力して発表する。

他のグループの発表のよいところを見つけながら聞き合う。

課題別グループの話し合いが進むように支援する。

自分のよさに気づかせるために承認・賞賛の言葉かけを行う。

自己発表に自信をもてない子には，そばへ行って声をかける。

発表の仕方や表現物のよいところを学習プリントに記入させる。

友だちからのアドバイスをもとにどんな点について見直せばよいかグループで話し合わせる。

自己選決友だちのよさに気づかせるために承認の言葉かけを行う。

自分のよさに気づかせるために承認・賞賛の言葉かけを行う。

自己

課題別グループの話し合いが進むように支援する。

自分のよさに気づかせるために承認・賞賛の言葉かけを行う。

自己発表に自信をもてない子には，そばへ行って声をかける。

発表の仕方や表現物のよいところを学習プリントに記入させる。

Aグループの話し合いが進むように発言者を指名する。

意欲の持続しない子には，そばへ行って声をかける。

学習プリントを準備し事実・感想・意欲の観点から学習のふり返りをさせる。

選決

課題別グループの話し合いが進むように支援する。

自分のよさに気づかせるために承認・賞賛の言葉かけを行う。

自己発表に自信をもてない子には，そばへ行って声をかける。

発表の仕方や表現物のよいところを学習プリントに記入させる。

Bグループの話し合いが進むように発言者を指名する。

意欲の持続しない子には，そばへ行って声をかける。

学習プリントを準備し事実・感想・意欲の観点から学習のふり返りをさせる。

選決

友だちの発表のよいところを考えながら聞いている。

(価値的・態度的側面)